

月 日

お礼の気持ちを伝えよう1 (62〜65ページ)

【目ひょう】

お礼の手紙の書き方を知り、形式を守って試写することができる。

【学習計画】

「お礼の気持ちを伝えよう」の学習は、次のような計画で進めます。

	学習内容（かだいとつながっています）
1	お礼の手紙の書き方を知る。
2	お礼の手紙の書き方を守って視写する。（うつしまる） 草野先生に、お礼の手紙を書く①。 ●本文の内容を考える。
4	草野先生に、お礼の手紙を書く②。 ●下書きを書く。
5	草野先生に、お礼の手紙を書く③。 ●清書を書く。↓学校が再開したら書きます。

【かだい】

1 63ページ。お礼の手紙は、四つのまとまりでできています。では、お礼の手紙の四つのまとまりと、そこにどのようなことを書くのかを説明してください。書き方は、「はじめに、〜〜。つぎに、〜〜。つぎに、〜〜さい後に。」とします。（さい初めのまとまりは、書いておきます。↑）

お礼の手紙の四つのまとまりについて、説明します。

はじめに、「初めのあいさつ」書きます。ここには、季節に関する言葉や、相手の様子をたずねる言葉、自分のしよukaiを書きます。

次に、

2 うつしまるのトレーニング8に、「お礼の手紙の書き方」があります。
手本を見ながら、書き方の約束を守って、ていねいに視写してください。

3 今回の学習で、①うまくいったこと ②もっとできたこと ③つぎは
こうしたい ④そのほか のポイントでふりかえってください。
(四つのポイントの中で、今自分が書きやすいものを書けばよいです。
いくつ書いてもよいです。)

--	--	--